

## まちづくりミーティング（まちづくり担い手育成支援事業参加者）

### 【参加者】

みなさんこんばんは。よろしくお願いいたします。私は蘇原に4年前に移住してきたので、今回の舞台である那加地区はほとんど知りませんでした。第二回目の街散策で、地域の歴史やまちなみを知って興味を持ったので、職場の人や友人にも話をいろいろと聞き、昔の賑わいや地元の方ならではの感覚を知ることができて、さらに魅力的だと思うようになりました。また、この期間中にご縁をいただきまして、まちづくり推進課で働くこととなりました。仕事を通じて、どの地域にも言えることですが高齢化や空き家などリアルな住民の声を日々聞くことがあり、この街づくり事業と地域の方々を結びつけ調和し長く続けられる環境を作っていきたいと思うようになりました。

自分なりの今後のアクションプラン宣言ですが、今回参加してみて自分が思っていた以上に私は誰かの叶えたい・やってみたいを実現できるようにサポートしたり、アイデアを構築していく部分に喜びを覚えました。何かを実現するためにはいろいろな立場や考え方を取り入れることも大切だと思うので、広い視点で長く続けられるように関わっていきたいと思っています。

私の思うまちづくりですが、じつはとっても身近なものだと感じました。はじめはまちづくりというワードは大それたもので、いち個人の素人ではできないことだと思っていました。でも関わってみると誰かのふとしたことでいろいろな思いや未来が描け、その思いがまちの未来につながると感じ、まちの関心を向けるだけでも立派なまちづくりなどではないかと思うようになりました。小さなアクションでもいいと考えられるようになったら、より各務原のことを知りたくなったし、ちょっと覗いてみようかなと思えるようになりました。その自分の気持ちの変化が今回参加して一番うれしかったことです。今回のことはきっかけで、この先に一歩ずつつながると想像できたことが自分にとっても発見で、今後は各務原が好きな市民としても、まちを支える働きができる職員としても、両者の視点をもって各務原で暮らせることが楽しくなりました。まだ始まったばかりですし、今回の事業でこのメンバーに会えたことが一番の財産だと思っています。今後もこの各務原でワクワクする景色をたくさん見たいので、これからも仲良くしてください。ありがとうございました。

### 【講師】

ありがとうございました。さっそくアクションしたってことね、すごいね、このワークショップ中ですからね、きづいたら僕が休んでたらまちづくり推進課に入りましたって、え？って。でもそれを聞いたときすごくしっくりきたのは今まですごく悩んで自分でやってみよう・やりたいをどこに自分が喜びを感じるかというところで、誰かをサポートしたり応援したりするひとがあつてのこの成功だと思うので、そういう状態が自分の中で腑に落ちて、さらにさっそく一歩踏み出してすでに次の課題に直面しているって本当にすごいなと思いました。これからもよろしくお願いいたします。

### 【市長】

ありがとうございました。9月からまちづくり推進課に入っていたらいいとのこと、ほんとに職員不足の中お越しいただきありがとうございます。恵みの湯の時もお世話になりまして、恵みの湯さんも独特な取組をしていて、地域課題というものをとらえながら高齢者の方、あるいは高齢者の方

が一步でも外に出るという手立てを作り上げていただいて、そういったところでいろいろ見てきていただいた方ですので、今回ほんとにまちづくり推進課というところに配属いただいておりますけれど、まさにまちをつくっている課だとわたくしは認識をしておりますので、今一緒に働いている職員を見ていただいてもわかるとおもうんですけど、ほんとに積極的に果敢に挑戦しようという姿勢がしっかりありますので、まあ今回この会に参加はしていただきましたけれど、今後は職員という目、市民という目という両方の目をもってこれからいろんな協議をしていただきながらいろんなアイデアを出していただきたいと思います。ありがとうございました。

#### 【参加者】

まず参加して気づいた地域の魅力・課題ということで、魅力としてはテンとかで自分が何かやりたいことを思いつかなかったんですけど、文太さんのレンタサイクルとカフェの意見がとても素敵だったので、特にカフェの方がいいなと思って、私は高校から電車で通学していて地元に戻ってきても行くところがあんまりなくて結局イオンとかどうしても大手のお店に行くことが多くて、地域に貢献してる感はあまりなかったのでそういう場所があったらいいなと思っていて、カフェをやるときに私ができることはなんだろうと考えたときに、皆さんがプロジェクトでやっているのをみて私も何かやってみたいと思っていることがあって、ドリンクの部分をやってみたいと思うようになりました。今アルバイトで飲食をやっていて大したものではないんですけど飲み物を提供したりしているので、もしカフェをやるとなったら出せたらいいなと思っています。まだあまりこういった活動を知られていないと思うので、私自身がテンとかイベントに行って SNS にこういうのあるよって紹介して、まずは自分の周りの人から素敵な場所があることを知ってもらえたらいいなと思いました。

3つめの私にとってのまちづくりとは、私は愛着づくりだとおもいました。いろいろな人が愛着をもって各務原のことを好きになってもらえるといいなと思いました。以上です。

#### 【講師】

うれしいね、うれしいしか感想がないね。やっぱりこうやって参加してなんかやりたい人がいて、何もやりたいことが浮かばない自分がいたときに、なんとなくこう差を感じちゃうときって僕も経験があるし、みんなもそれぞれあると思うんですけど、そういうのを感じて、別に無理して出すものでもないし出てこないものは出てこないというのを感じていてたので、いまテンに遊びに行ってみるとかイベントを手伝ってみるということが出てきたことが僕はうれしかった。どんなに小さくてどんなに個人的なことでもいいと思っているので、ぜひ遊びに来てください。

#### 【市長】

ありがとうございました。今、講師の方が言われたように、今回いろいろな方と関わることでいろいろな思いが出てきたという風に思います。これからもっと、年齢もお若い方なので、いろいろな方と出会うこともあるしいろんなことを見ることができると思います。そういった中でやはり自分にスイッチが入る時があると思うんですね。そのタイミングがいつ来るか分からないですけども、やはり多くのものを見る・多くの話を聞く・あるいは何かやってみたいという風にどうしたら思えるのかということを一度経験してみると、きっとたぶんすごく簡単だと思うんですよ。それがやる気ス

イチミたいなのをいつ入れるのかではなくて、どのように入れるのかを自分でちょっと思っていた  
だけるとだんだんと見えてくるかなと思いますので、ぜひ今後も積極的にいろんなところに出かけい  
ろんな人と交流をしていただきたいと思います。ありがとうございました。

#### 【参加者】

私がこの事業に参加して気づいた各務原市の魅力・課題というところで、私が感じた魅力としては、  
この事業に参加して各務原市を盛り上げたい熱い思いを持っている人がとても多いなということ  
を感じました。私がこの会に参加した時には各務原市民だけが各務原を盛り上げたいのかなと思っ  
たんですが、実際に参加してみたら市外の方や若い人たちの参加もあって、各務原市を盛り上げ  
たいと思っている人がすごく多いんだなということを感じました。また、この会に参加してテンや  
古民家えんがわなど私が知らない場所を知れたので、知られていない場所というところでもまだ  
各務原にも隠れている場所がたくさんあるのが魅力だなと感じました。その一方で課題としては、  
やはりいいスポットがあっても認知度が低いというところがまだまだ課題ではあると思うんです  
けれど、その反面ワクワクするところでもあるかなというのは感じています。自分なりの今後の  
アクションプランとしては、お三方がアイデアを出していただけたんですけど、私がその中で  
自分も何かできるかなと考えたときに、どれにも携わってみたいなという思いがあったので、  
その中で自分ができることは何かと考えたときに情報提供するところをしていきたいと思い  
ました。私はこの事業に参加するきっかけとしては、地域をよくしたい各務原を盛り上げたい  
というただその思いだけでこの会に参加して、実際に皆さんがすでにまちづくりに関わって  
る方たちが多かったので、この会に参加した時正直ちょっと焦りがあって、私はこの会に  
参加して初めてまちづくりに携わってみようと思ったので、焦りがあった中で一から何か  
を創り出すことに全く興味がなかったもので、視野を広げる意味でもいろんなことに自分  
でも目を向けてみたいなと思いました。

この事業に参加してみて、私は今大学4年生なんですけど、空き家というところで卒業論文では  
空き家の活用について書いてみようと思っています。その中で実際の先行事例として空き家  
を活用して成功して地域活性になっている場所もいくつか見られたので、私が実際に現地  
を見て自分が感じたことをアクションプランとしてあげている方に何か情報提供ができた  
らいいなと考えています。私にとってまちづくりとは、人づくりだなと感じました。私は  
22年間各務原市に住んでいて、小さいころからシティマラソンとかさくら祭りに参加して  
いました。なんですけれど、私自身各務原市を盛り上げたい気持ちだけがずっとあって  
行動に移すことができてなかったもので、初めて各務原市のまちづくり事業に参加して  
みようと思って参加させていただいた中で素敵な方たちに出会えて、まちづくりに興  
味のある方たちに出会えたことが人づくりにつながっているんだと感じました。実際に  
私が大学生として今思っていることは、大学のゼミの中で興味があっても最初の一歩が  
なかなか踏み出せない仲間がいて、私たちの中でもいろんな市のホームページを見  
ながら若者を対象としているところに参加してみようとなっても、仲間がいないと  
一歩踏み出せないというのが今の大学生にはあるのかなと思うので、こういった誰  
でも来やすいイベントがもっとあれば若い人たちにまちづくりに興味のある人をた  
くさん増やしていけるんじゃないかなと思いました。

### 【講師】

プレゼン資料作りうまいね、やってよかったねと思います、今のよう話を聞くと。自分が大学生のころ、まちづくりや地域おこしって結構ニッチな分野で、何それ？食ってけるの？と言われた記憶があったけれど、今の世代はそういうのに興味を持っている子が多い反面一歩踏み出せない子が多いというのは勉強させてもらったので、この事業が火付け役・行動の一歩になれたのが今後もやっていけたらと思います。

### 【市長】

地域をよくしたいという地元愛がひしひしと伝わってくるプレゼンテーションで非常にうれしく思いました。まずは最初の第一歩を踏み出せたことが本当に素晴らしいことだなと思いましたし、卒業論文で空き家の活用方法を執筆したいと、その中でまたアイデアを生み出せたらいいなということで、まずは今の自分にできることを認識していただいているので必ずできると思います。空き家の活用にもいろいろあると思います、今回は那加地区でしたが、ちょっと前に東白川村の空き家の活用などそんな話も出たことがあり、地域によって活用の仕方が全然違うと思いますので、ぜひ卒業論文を書き上げながらもいろんな地域があるよというところを、自分らしく活動し、まとめていただきたいと思います。

### 【参加者】

各務原出身、大学卒業まで各務原に住んでおりました。そのあと12年ほど東京に出まして、デザイナーや広告関係などどのように商品の魅力を打ち出していくか仕事をしてきた中で東京のいろいろな広告にも触れ、今年の1月に各務原に帰ってきました。そんな僕が感じたのが、お話しただいては通りなんかカミガハ面白いなと、場所やこういった集まりがあること、何よりもテンの前を通った時になんかここやばいと思って、なんかあるぞと思っていったときにやっぱりなんかあって気づかされたときに、面白いなと思いました。具体的に何が面白いかはいろいろなものに関わっているところでもありますが、課題というところでは、今のところ僕の中では問題またそれに伴う課題で明確なことは感じられていません。高齢化を感じることはあつたりしますが、そうやってきたときにもう少し面白いが広がる・多くなっていけば、自分自身まちづくりというよりは単純に自分が面白く暮らせればというところの目標がある中で課題を考えると、東京から帰ってくるまでこういったことがあることを何も知らなかった、OURFAVORITEのデザインもかっこいいなとか知らなかったことを考えると、いかにこの取り組みを認知させていくか、また社会性があつたりシニアの方だったり子どもを対象にしたものであつたりいろいろな取り組みをやっている・やれる・やりはじめようとしている場所であることを広げていくということをいかにやって行けるかが課題だと思います。その課題を受けて自分は何をするかですが、自分の中で具体的に何かを始めようというかは、米袋さんがおっしゃっていたようなことはまさに親父がそこに行つてほしいし、そこだったら親父もすごく楽しく暮らせるだろうなと思います。自分が面白いと思った取り組みやデザインかもしれない、何かしら関わっていくことができれば自分が住みたいまちに近づくのではないかなと思います。なので、何かしら面白いなと思ったところに携わりたい。最後に自分が思うまちづくりとは、前の方とかぶりますが居心地の良い時間と関係性を作っていく場、まちというのは人が集まる場なので、そこ

の中で関係性が生まれたり時間が流れたり、そういった楽しいなと思えるような人生といったら大袈裟ですが、そういったことがさらに出てくるようなまち・場所というところに自分が力を加えていけるというのがまちづくりだと考えています。

#### 【講師】

僕の10年間の仕事の中でひとつこれは自分の中での小さな目標があって、ふいに帰ってきた地元・各務原で、なんか各務原おもしろいって思ってもらえたらよし！って心の中でガッツポーズできるのがあって、まさに今言ってくれた、面白いと思って帰ってきたわけではなくいろいろな都合で地元に戻ってきたときに地元で面白い場所があった、僕らが駅前でごちゃごちゃやってるのをなんか面白くなって思ってくれたことがすごくうれしいです。本当に帰ってきてくれてありがとうございます。すでに参加する前からテンのイベントにはほとんど皆勤賞で参加してくれていたり寄合に来てくれたり、すでにアクションしている人の一人と思うので、これからも活動を手伝ったりとか一緒にやれたら楽しそうだなと思いました。

#### 【市長】

おかえり。よく帰ってきてくれました。ありがとうございます。面白い場所って、まだ帰ってこられて間もないと思うのでまだまだ行きつくせていないところがあると思います。ぜひそういったところをここにいるメンバーだけでも、今回は那加地区だけでしたが、例えば蘇原に住む方であれば蘇原などの情報をキャッチしていただいて、ぜひ出向いていただきたいと思います。さっき焼鳥屋の話をしました、経営者は60オーバーなんですね。2人兄弟でやっていて、遊び心のある面白いお店なので、こういったところは飲食だけでなくほかにもいくつかあると思います、働く場であったりとかもあると思うので、ぜひどんどん足を運んでいただきたいと思います。そして市行政として課題の一つと捉えているのが外に対する発信力というのはどうしても難しいところかなと思いながら力を入れているところですので、今もいろいろと検討しているのですがこういうことやったらどうかなどあったらぜひ教えていただきたいと思います。ありがとうございます。

#### 【参加者】

参加して気づいた地域の魅力は、地域をよくするための取り組みが行われていることです。今回参加するまで那加駅の周辺で新しいことが行われていることは知らなくて、例えばベルハウスが閉店したことは知っていましたが改装されて使われていることは知りませんでしたし、古民家のテンの近くをいつも通っていてもイベントなどが行われていることは知りませんでした。だから今回参加してみて、地域をよくするための取り組みが行われていることを知れたのが良かったです。それについての課題は地域の魅力があまり知られていない。私が今回参加するまでベルハウスやテンなどを知らなかったように、まだまだそういうところを知らない人が多いと思うのでそれが地域の課題だと思います。今後のアクションプランでは、私は参加者の方に協力したいと思います。レンタサイクルとカフェでは、私はお菓子を作ったり料理をするのが好きなのでカフェの部分を担当したいと思います。食べ物を作るには保健所の許可が必要だったりするので許可を出された場所でお菓子を作ってテンで出せたらいいなと思っています。各務原市だと古民家えんがわが製造許可があるみたいなので貸してい

ただけたら嬉しいです。カフェで食べ物を提供することで人と人がつながる場所になったらいいなと思っています。次にカフェのメニューの提案です。今までで作ったことのある中からいくつか選んできました。コーヒーに合うようなチーズケーキとか軽食としてメロンパンの写真を持ってきました。レンタサイクルなのでサイクリングしながら食べられるといいなと思って、クッキーやパウンドケーキなどもいいなと思いました。つぎに子どものつどい場では、子どもが喜ぶことややることがないとスマホを見てしまうので遊びの選択肢を増やしてみたいなと思って、こちら料理で協力できたらいいなと思っています。お店の人や地元の方と協力をしていかにたくさんの人を巻き込んでいか考えてみたいと思います。最後に私にとってのまちづくりとは、誰もが楽しく暮らすための土台作りと、人と人がつながる場です。私は将来公務員として働きたいと思っていて、そのために各務原市のことをよく知りたくて参加しましたが、今回参加してみて公務員として働くイメージがちょっと変わって、今まで公務員の仕事は困っている人を助けることだと思っていたんですが、それだけじゃなくて今各務原市で生活している人が今よりもっと楽しく過ごせるような土台を作ったり、人と人のつながりを作ったりすることが大切なんだと思いました。そのためにこれからもっと各務原市のことを知りたいなと思います。以上です。

#### 【講師】

ありがとうございます。カフェのプレオープンとして身内でね、作ってくれたお菓子とドリンクを飲む会をやりたいと思います、勝手に望んでます、それくらいこの現場でそういうことが生まれたのが嬉しいなと思いました。

#### 【市長】

ありがとうございました。最後に非常にうれしい言葉を言っていただいて、将来公務員として働きたい、もちろん受けるのは（各務原市です）ですよ、待っています。最後まちづくりとはということで、誰もが楽しく暮らすための土台作り・人と人とがつながることということで、まさに市役所が目指していることなんですよ。そういった中でお二人のサポートをしていきたいというふうでいくと、自分が何ができるのかがもう具体的に出ているので、どんどん積極的に前に出ていく、表に出なくてもいいんですけど味があるような形で出ていくのが非常に重要になってくるのかなと感じました。なんといってもまずは理沙子さんが自分で作ったお菓子や料理でみんなを楽しませたいと思い描いていただけることが一番大切かと思いますので、そういったところを今後も頑張っていたきたいと思います。ありがとうございました。

#### 【参加者】

まず僕にとってまちづくりはどんなことかなと考えていたんですけど、まちづくりとはいろんな人のやりたいことをやっていけるような器のような感じかなと感じていて、今もカフェやりたいとかギャラリーやりたいとか SUP やりたいとか、いろんなやりたいが集まっていいまちができているなとすごく感じました。なので、器がいっぱいになった時はすばらしいまちになっているんだろうと思うながら考えていました。各務原のまちの魅力としては、みなさん言ってらっしゃったようにいろんなことやりたい人がいっぱいいるなと思いました。課題としては、すごくいいところがいっぱいあるん

ですがまちの中で点々としていて長い間住んでいる人にとっては那加エリアはなんもないって話を聞いて、いいところいっぱいあるのにと思っていて、点在しているから気づかないのかなと考えたので、点を結んで面にしていくみたいなかんじにしていけばもっとまちが活きてくるのかなと考えました。僕のアクションプランとしては点をつなぐような、学びの森という大きな点を松原文具店と結んでやっていけたら面白いかなという風に考えて、みんなの ASOBIYA さんと考えました。市民公園に初めて行ったときに、そんなにいいところなのか？と思ったらめっちゃよくて広くて。まず最初に何をやりたいかなと思ったらサッカーをやりたくて、サッカーボールが欲しくて、でもコンビニに行ってもないしどこに行ったらいいんだという話になったので、遊びの道具をレンタルできる場所があるといいなと思って考えました。あと、月一回くらいのペースでワークショップ開催できたらいいなと思っていて、紙飛行機屋とかステッカー屋さんとかやりたいかなと思っています。以上です。

#### 【講師】

ありがとうございます。マーケット日和のボランティアにも参加していろいろな視点からまちのことを見てくれてこういうアイデアにつながったと思います。目線が独特だなんていつも思います。その視点って何十年が暮らして生まれてくるというか、俯瞰している感覚をすごく感じて、それは誰もが持てる視点ではないから、だから公園という既にある点と新しい点をつなごうって最初から想像してこういうアイデアが出してくれたんだろうなと思って、僕も勉強になりました。僕も公園で遊ぶのが好きで、どちらかというと遊びを作っていくのが好きなので、遊び作り得意な人結構いると思うから遊び作り好きな人がここに集合してきていろんな遊びができていくと楽しいなと思います。

#### 【市長】

ありがとうございました。紙飛行機とか凧づくり、松ぼっくり探しなどユニークなところに着目されているのと、講師の方が言われるとおりちょっと広めな視野でものをとらえられているなと感じました。まさに各務原というと航空機のまちですので、飛行機といった観点から以前に紙飛行機の全国大会が開催されたんですね。そういったこともありますので、ぜひ思い描いていただいているものがこれだけたくさんありますので、着実に一つ一つ計画を立ててこなしていただいて、ぜひ紙飛行機の全国大会をまた各務原市に誘致をしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

【参加者】今回参加して気づいた魅力としては、自分の知らないところで面白い場所があるなと思いました。自分の通り道でも、2回3回と通っていくことでこんなのあるんだという気づきがあるなと思いました。課題としては、おもしろい興味があるとしても、それが知らなければ知らないまま終わってしまいます。自分の友達でもこういうのがあったんだよと話しても知らなかった！となってしまうので、そこが課題ではないかなと思いました。自分なりの今後のアクションプランとしては、自分は自転車を修理に出して 2000 円払うのが嫌だったから自分で修理しているんですけど、その修理を生かしてレンタサイクルの修理ボランティアをしていきたいなと思いました。私の思うまちづくりとしては、人と人が支えてまちをつくっていくことじゃないかなと思いました。結局一人でまちをつくっていくにしても誰にも興味は伝わらないし、長い時間かかってもかなわないままだと思うの

で、人が協力していつてまちをつくっていくことによって早くまちがつくられていくのではないかと  
思いました。

【講師】ありがとうございます。進路どんな感じ？お母さんと知り合いで、この子は勉強ができな  
くてどうしようもないって頭を抱えていて、だから面接で言えるような経験をどんどんしておけと尻  
叩かれていろんな活動に行って、いいのがあったら教えてくださいと言われて今回これを送ったらま  
さか参加すると思ってなくて、でも参加して実際に今みたいな気持ちを思っ言葉にできたことって  
いうのを高校生のうちにしているということに感動しています。大学生になってもぜひ一緒に遊びま  
しょう。

【市長】

ありがとうございました。まずは高校生でありながら参加していただいたことにすごいなと感じま  
した。自転車うちにも2台ありますので壊れたときにはぜひお願いします。今の自分ができる自転車  
修理だとかきっかけがあって、それを得意分野としてサポートできればという心温まるエピソードを  
お話しいただいて、おそらく自転車の修理は今できます、他にも何か絶対できることってたくさんあ  
ると思いますので、ぜひそういったことからまーさんが高校・大学・社会人になってく過程において  
最初のきっかけ、自分の自転車を自分で直そうというきっかけ、そういったきっかけで絶対に出て  
くると思うので、そのきっかけを大切にさせていただきながらいろんなことに挑戦していただき、それ  
を自分の特技として自分のものにすることがひとついいことかなと思いますので、ちょっと気  
にかけていただければと思います。

【参加者】

皆さんお久しぶりです古民家えんがわのオーナーです。2か月来ない間に7月には開業していなか  
った民泊が開業したと思ったら、ものすごく忙しくなっちゃってこんな田舎にも外国人来るんだっ  
て状態になっています、ありがたい話でございます。じゃあ私は民泊のオーナーになりたかったのか、  
これ自分がしたかったことかというのか考えたときに違くなって今感じていて、今日一日まちづくり  
って私にとってなんだろうと考えていたら、やっぱりまちづくりって人づくりだなと私は思ってます。  
私は、箱を作るのが私のやりたいことかなと思っています。まっさらなステージを作りたいと思っ  
ていて、そこに自分が演者として立つのではなくてプレイヤーの方いろんな人が活躍できる・ステー  
ジに立てる箱を作ってあげたいという風に思っています。やりたいことが何も出てこなかった、ならサ  
ポートに回りたいという話があったのですが、全員がステージに立ったら劇は全く進まなくて、プレ  
イヤーがいて音響がいて大道具さんがいて脚本を書く人がいて、いろんな裏方さんや支える人たちが  
いて初めて成り立つので、得意なところを得意な分野で活かせる、そういう状態を作ってあげるのが  
一番やりたいことだなと思って、いっぱいストレスを感じながら神経使いながらやっています。ここ  
でみんなの話を聞いていて伝えたいことが、古民家えんがわがあるんですが、どういう人たちで成り  
立っているのか、たぶん皆さん一緒だと思います。一番外側は興味がない人、見ていただけの人・通  
り過ぎていく人、インスタだったらフォローはしているけれどほとんど見ていない人、その内側にユ  
ーザーがいる、来たことがある人、その人たちがもっとこの場所を気に入るとコアなスタッフになっ



ていく、ユーザーで終わらずにコアなスタッフになれるという環境、ゆるい関係性を作っています、これおもしろいです。私がやりたい・やりたい人たちが集まっているけれど、ここから見えない周りの人たちをうまく取り込んで、どんどん興味のある人たちも新しく取り込んでいけるような広くオープンな居場所を作っていきたい。私はそこをもっとたくさん作っていきたいというアクションです。課題はお金です。やっぱりお金です、場所を維持するにもお金がかかってきます。ではどういう風にお金を集めていくのか？うちの場合は、収益を三階建てにしています。お金を場所に落としていってくれる人は一番下のいつものユーザー、いつものユーザーだけだと限界が来ます。いつものユーザーだけだと場所の維持は限界が来ます。なので、そこにプラスして2階層を作っている、うちの場合は時々使うユーザー・金額的に1万円くらいのユーザー・レンタルスペースで使ってくれるユーザー、さらにその上の一回しか使わないユーザー・この人は1~2万円くらいの民泊などのユーザー、さらにその上にこのユーザーが乗ってくるわけです。この全部を使ってやっと事業やうちの施設が賄えるという考え方になります。外から飛んできた人たちは別のポータルサイトを使ってきてくれた人たちスペースマーケットやエアビーなどから来てくれた人がいるので成り立つ。他県や海外など古民家えんがわを全然知らないところから来てくれる人たちがお金を落としていってくれます。それを結局どうするかというと、私が儲けていて終わりではなくて、運営をしていく中でこの人たちが働く場を提供しています。この人たちは子どもを育てていたり障がいを持っていたり、でもやっぱり働きたい。そういったときにここで働くことができる。私はここで収益があるからお金が支払える。だからこのコアな人たちはずっとコアなスタッフでいてくれるんです、というのを大事にして眠れない夜を過ごしています。今日いい話をいっぱい聞いて私もスタートはこんな感じでやっていたなと、実際には非常に苦しいこともあるけれど、でも自分がなぜまちづくりの活動をスタートしようと思ったのか、そこは忘れないでほしい。変わるかもしれないけれど根底になるものは絶対変わらないから、なぜやりたかったのか・私は今なぜこれをやっているのかをその都度振り返ってやってほしいなと思います。

#### 【講師】

途中から開業支援セミナーに来たみたいになってたね。でもこれがきつと行動して歩みを進めてきた人の言葉の重みだったりとか苦労されているし、すごい母ちゃんもったな。まとめてもらったなと感じました。まさにおっしゃったとおりのことを僕も思いますし、今までやってきたことを見てきたしお手伝いをさせてもらったこともあったけれど、今みたいに話している姿とか見たことがなかったので、始めたい人にエネルギーを与える人なんだなとか、これからつなぎたいなと思う人が僕の中で何人か浮かんだりしてきたので、なかなか足を運べていないですけどちょこちょこ顔を出したいと思います。これからもよろしくお願いします。

#### 【市長】

ありがとうございました。まちづくりはひとづくり、ひとづくりはまちづくり、両方の言い方がありますが、その通りだと思いますし、もうひとつ人活躍の場を作りたいというのは本当に大事だと思います。多くの方がどれだけのよう形で活躍をしていただくのか、その人の個性・特性・自慢できるものなどなどいろいろありますので、まずはステージを用意してどういった方に集ってい

ただくのか非常に重要なところに既に理解をいただいているということで、今忙しすぎるのでちょっと他に目がいけてないのかなという風に感じますが、コアのスタッフメンバーであったりとかこれからだんだんと応援者が増えてくると思いますので、その余裕が若干でもできたときには、また今お話しいただいたようなことを試みていただきたいと思います。ありがとうございました。

【講師】 発表を終了したいと思います。最後にまとめを軽く話します。

皆さん発表お疲れさまでした。すごくいい心の状態です。ほとんどさっき話した内容に含まれるんですけど、僕にとってのみんなに問いていたまちづくりとは何か？というので、自分がまだまちづくりとは何か最近ちょっとぶれてきて、迷い始めていた時期だったんですけど、原点という話で僕が最初に関わった時に見たまちは、そこにいるすべての人たちが、そのまち暮らす環境のこと、自分の暮らしているそのエリアのことを自分事としてとらえていた。みんなが自分の部屋を自分のものだと思うように、みんながまちのいろいろなところを自分の場所だ、でもあの人の場所でもあると思いがらうまいこと関係性を築いていくのがまちだのと、それをかっこいい・そういう場所に住みたいなと思ったところが自分の原点みたいところだったので、そういうところを見つめ直させてもらう自分にとってもいい機会になったし、そういう人を一人でも増やしていこうというのが目標だったので、今回こうやって声かけて集まってくれた人も興味を持って集まってくれた人も、本当にありがたいなと思っています。自分にとってこのまち各務原ってところは、いつか帰る所でありたいなというところがあるので、みんながこれからどんな人生を歩んでどういう風に生きようと、さっき進藤君におかえりって言ったように僕もお帰りって言ってもらえる場所を僕自身で作ってイケたらと思うし、みんなで作ってイケたらと思っているので、さっき冗談で言ったけれどカフェの試作会みたいな交流会のようなものをちょこちょこ具体的なことをふったり、みんなからふってあげたりとかでもいいので、そういう場所をちょこちょこ作ってイケたらと思いますので今後ともよろしくお願いします。

【市長】

皆さんありがとうございました。まちづくりって本当にいろいろな形があると思います。今日皆さんに発表していただいてそれぞれの思いがあり、自分がどういったポジション、プレイヤーになるのかサポーターになるのか、自身の特性があるのでそういったところは自分で考えていただいて、ただまちづくりをしていこうとしている方が皆さんの周りにもたくさんいると思うので、そういった方々からいろいろな声を聴きながら自分なりに、あるいは自分のアイデアをさらに発信していただきたいなと思います。まちづくり、まさに人であったり交流であったり笑顔であったり自分の居場所づくりであったり、いろいろな観点がありますけれど、おもしろさは事であったり物であったりいろいろなものがあります。例えば、今日は市民の方が半分以上参加いただいておりますが、各務原市が公式に発表している市の名前ってわかりますよね？公式に発表しているのはかかみがはら市、ただ市の名前の読み方ってまだあります。県立高校3つあります。一個は岐阜かかみの高校なのでちょっと違いますが、同じ漢字をあてて、西の付く方は岐阜県立かかみがはら西高校、かかみはら高校、同じ

県立高校でありながら読み方が違う。では JR の駅を見てみると JR かがみがはら駅、これも公式に出  
ております。ですけれども、この同じ字を当てながら違う読み方をするのが少なくとも3つある。合  
併して今年 61 年目になりますが、合併する前に各務原市の 4 町に住んでいた方々はこれまた読み方  
が違って、かがみはらと読む方もみえます。今日若い方々みえますけれどもイオンはみっばらのイオ  
ンと言いますよね、これだけでも面白い。以前この各務原市の市名の読み方というだけでテレビ取材  
を受けたことがあります。ここでまた面白いのが、市の公式に発表している読み方、市民の方で何割  
くらい言えたと思いますか？テレビ局がリサーチした結果、4 割の方でした。各務原市内に住みな  
がらかかみはら高校出身の子はずっとかかみはらで覚えてしまう。これも面白さの一つなんですよ。  
そういったいろんなところに面白いもの、あるいは人であったり笑顔であったり、自分の笑顔のみな  
らず人の笑顔によって、この人はなんでこの笑顔があるんだろうということを感じ取っていただくと、  
さらにそこにはいろいろな人の歴史であったり各務原市の歴史もありますが、その人の歴史を知るの  
もひとつの面白さではないかなと思います。ありがたいことに各務原市は、あるリサーチ会社の調べ  
によりますと、40 代以下の方を対象にしたアンケートでは、岐阜県内 42 の市町村で永住したいまち  
1 位に 2 年連続で選んでいただいています。これは緑が多いであったりとか、活力があるなどいろ  
んなキーワードがありますけれど、まさに今までの方々がこういった評価につながることをやってき  
ていただいております。まさにこれから皆さんがいろいろなことに果敢に取り組んでいただくこと  
によって、さらによく各務原になっていくと思いますので、果敢なる挑戦をし続けていただきなが  
ら、そしてこよなく各務原市を愛していただきたいと思います。今日はありがとうございました。